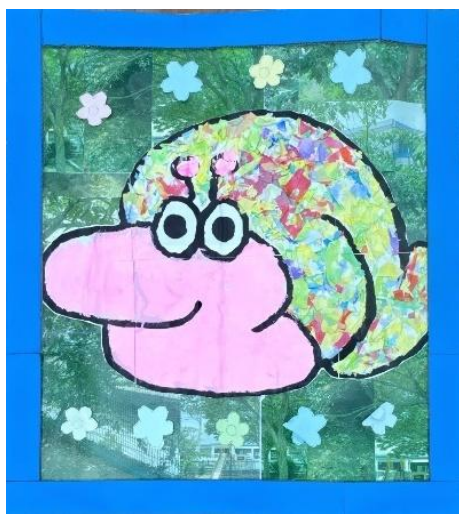


社会福祉法人弘徳学園 おかやま共育・共働センターでんでん

2014年5月に開所した生活介護事業所です。漢字で書くと「田田」です。事業所のある岡山市南区古新田の「田」から頂きました。地域に根差した事業所になるようにこの名前にしました。

共育・共働とは支援する側とされる側の精神的な垣根をこえて、共育（ともに幸せになり）・共働（ともに誇りをもてる）の関係性を築けるようお願いをこめました。



「でんでん」 共同作品

でんでん虫の甲羅部分は、染紙を作り、それをちぎり貼り絵にしてみました。背景は、でんでんの近くに出かけ、緑を探し写真に撮ったものです。

この作品には、「でんでん」で過ごす日々の楽しさや、地域とのつながりを大切にする気持ち、そして利用者の皆さんの豊かな表現力が込められています。多くの方に「でんでん」の魅力を知っていただけたら嬉しいです。



「くらげ」 小林朋樹

ピカピカをイメージしクラゲをかきました。みんなにみてもらいたいのは、いちばんしたの、ぼくのおすすめの色でかいた4ひきのくらげです。



「視線アート」 共同作品

視線入力装置を使用し、言葉や手の動きではなく、視線という表現を通して、自分の世界を丁寧に描き出しました。この絵には、「見つめる力」が持つ可能性と、誰もが持つ表現の豊かさが詰まっています。



「転がす笑顔と転がる楽しさ」 共同作品

色を付けたビー玉を箱に入れ、思い思いに転がして一つの作品を作り上げました。カラフルな色彩が、制作過程の笑顔と楽しさが詰まっています。



「指先で咲いた命」 共同作品

指の跡を小さなスタンプの様に重ねて生まれた動物達の絵です。指紋の一つ一つが集まりまるで花が咲くように形をなし、命ある姿へと変わっていきます。偶然と必然が重なり合うことで無機質な跡から生命が芽吹くその一瞬を表現しました。